

# アナザーワールド SRS・ワールド サマリー

## ■ アナザーワールドSRSの目的

PCは特異能力を持った『能力者』となり、人々を苦しめ殺そうとする悪しき存在『異端』や、異能によって人々を殺めようとするテロリスト『異端犯罪者』を戦う。

大半の能力者は退魔組織『教会』に所属しているエージェントであり、異端事件が発生すると仕事斡旋人から討伐が依頼される。



能力者だけが世界崩壊を議論し敵・異端と対抗できる存在である。

※高坂（教会の仕事斡旋人）

## ■ 時間跳躍

この世界『ゼフィロス』は、時が巻き戻りやすい。

異端による惨劇が発生すると、『正なる神』は悲劇を回避するため『神々の装具』を派遣し、PCに「惨劇が発生するより前の時間へ、時を巻き戻す」提案をするようになる。

※龍の聖剣（神々の装具）



PCはその提案を受け入れることで、惨劇が発生する前に時間跳躍をすることができる。

惨劇を止めることができずに失敗しても、神々の手を取れば何度でも時間を巻き戻すことができるが、そのたび『ループの代償』を消費しなければならぬ。

※代償の例：片腕や片目を失くすことによる【能力基本値】の減少、狂気に陥り廃人になりやすくなる【正気度】の減少など。

## ■ 用語・世界観解説

### ▼一般人

何も能力を持たない、普通の人。特異能力や異端の存在、時が巻き戻りやすいことを知らずに生きている。

退魔組織『教会』は秘密結社であり、表向きはごく普通の『礼拝堂』が建てられ、そこで活動しているボランティア組織としている。

### ▼悪しき者達

「苦しい、つらい」といった『負の感情』を得ることで成長する者達。本能として、苦しめて人々を殺し、餌として食らおうとする。

下級異端（通称『異端』）はモンスター、悪霊や怨霊、化け物のような姿をしている。死亡すると蒼い光になって昇華され、消える。

中級異端（通称『魔族』）は、人間と変わらぬ姿をした悪しき者達。人間社会に生きる者も多い。死亡しても遺体が残る。

上級異端（通称『魔王』）は、異端や魔族の頂点に立つ者達。テレパシーのような方法で下方の異端を使役でき、力を与える。

全ての異端を生み出す邪神『欺く神』の命令により、異端は世界を破滅させようとする。

### ▼ウズマキ

時空の狭間。時が進まぬ、不思議な空間。

上も下も右も左も渦が巻いているような謎の空間になっており、特定の渦に入ることで指定の時間の世界に向かうことができる。能力者であっても『神々の装具』の力が無ければ、入ることはできない。

一度でもウズマキを知覚できた者は、自分の所有物（スキルウェポンや物品など）をウズマキの中に収納、自在に取り出すことができるようになる。

※スキルウェポンを取得しているPCは、コインロッカー感覚でウズマキを使用可能。